

地域をいっばいの花で明るく



観光客も目をとめる色鮮やかな花壇

「病気をして落ち込んでいる時に、このままではだめだ」と決心して始めたのが、花で庭を飾ることでした。それから13年毎年続けてきています。

現在は、自宅の前の道路沿いの花壇に2500株、財田自然体験ハウス入り口の看板のところに2800株植栽しています。

花の種類は、マリーゴールド、サルビア、アジサイ、ハゲイトウ、ジニア、ペゴニアなどです。

2年続けてスウェーデンの夫婦が見に来るなど、花を通じて様々な人たちとの輪が広がってきています。

「いろいろな人の言葉を励みにして、これからもずっと続けていきたい」と人とのつながりに喜びを見出しています。

宮内八千代さん
(財田)



田中 義啓さん
(富丘)

田中さんは、自宅の前の道路沿いの約200鉢両側に、マリーゴールド、サルビア、ペゴニアなどの鉢植え約170個のプランターを設置しています。

例年4月中旬頃から準備をはじめ、6月下旬頃1日かけて自宅の周りに設置します。

20年ほど前に、「富丘地区を少しでも明るくできれば」と思って始めたのがきっかけで、現在まで毎年続けています。

そのほか旧富丘小学校の跡地に建てられた「学舎の跡」の記念碑にも花壇をつくり整備を続けています。

「これからも元気なうちはずっとやり続けたい」と意欲的に語ってくれました。

